



大田区シンボルマーク

# 大田区政に関する世論調査

平成29年7月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成29年12月

大田区 企画経営部 広聴広報課

## ■調査概要

- 対象者 区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
- 対象数 2,000人
- 回収数 1,010人
- 回収率 50.5%
- 有効回収数 1,010人（電子申請での回答含む）
- 有効回収率 50.5%
- 抽出方法 層化無作為抽出法
- 調査方法 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、スマートフォン・携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

## ■グラフの見方

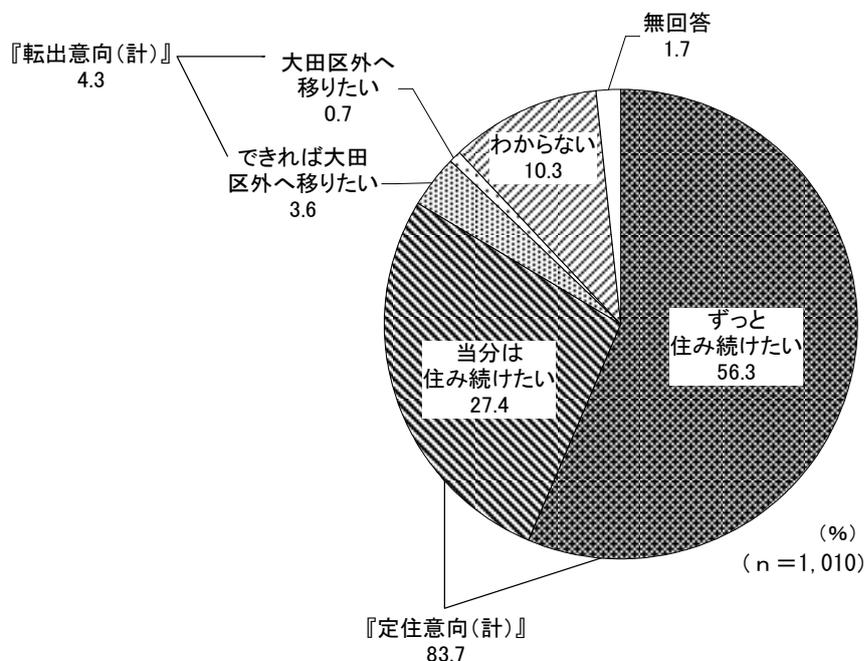
- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を越えることがある。

<p><b>1. 定住性</b></p> <p>(1) 居住開始時期</p> <p>★(2) 定住意向【P2】</p> <p>★(3) ずっと住みたい理由【P2】</p> <p>(4) 当分は住みたい期間</p> <p>★(5) 住んでいるまちが魅力的か【P3】</p> <p><b>2. 暮らしやすさ</b></p> <p>★(1) 生活環境の満足度【P4】</p> <p>★(2) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P5】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》</p> </div> <p><b>3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン</b></p> <p>★(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度【P5】</p> <p>★(2) 駅周辺のバリアフリー化【P6】</p> <p><b>4. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち</b></p> <p>★(1) この1年間に行った生涯学習【P6】</p> <p>(2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能の活用</p> <p><b>5. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち</b></p> <p>★(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じているか【P7】</p> <p>★(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区に期待する取組【P7】</p> <p>★(3) この1年間の運動・スポーツ活動の頻度【P8】</p> <p><b>6. 安定した暮らしと人権</b></p> <p>★(1) 男女の地位平等【P8】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》</p> </div> <p><b>7. 潤いとやすらぎのあるまち</b></p> <p>★(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P9】</p> <p><b>8. 世界へ羽ばたくまち</b></p> <p>★(1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度【P9】</p> <p><b>9. 未来につながる空港臨海部</b></p> <p>★(1) 空港臨海部が身近なまちとなってきているか【P10】</p>	<p><b>10. 国際交流</b></p> <p>★(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか【P10】</p> <p>(2) 区内の文化施設に期待すること</p> <p><b>11. 大田区の観光</b></p> <p>★(1) 「大田区観光情報センター」の認知度【P11】</p> <p>★(2) 観光の視点からみた大田区の強み【P11】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》</p> </div> <p><b>12. 地域力の土台づくり</b></p> <p>★(1) 参加したことのある地域活動【P12】</p> <p><b>13. 災害に強いまちづくり</b></p> <p>★(1) 大震災発生時に不安だと思うもの【P13】</p> <p>★(2) 震災対策の実施状況【P14】</p> <p>(3) 防災訓練に参加していない理由</p> <p>★(4) 災害情報の入手手段【P15】</p> <p><b>14. 防犯に強いまちづくり</b></p> <p>★(1) 力を入れてほしい防犯施策【P16】</p> <p><b>15. 地球環境</b></p> <p>(1) 「コアジサシ」の認知度</p> <p>(2) 「アオスジアゲハ」を見たことがあるか</p> <p>★(3) 地球温暖化防止への関心度【P17】</p> <p>(4) 家庭で取り組んでいる省エネ行動</p> <p><b>16. マイナンバー制度</b></p> <p>★(1) マイナンバー制度について知りたいこと【P17】</p> <p>★(2) マイナンバーカードの所有状況【P18】</p> <p>★(3) マイナンバーカードの活用により期待する行政サービス【P18】</p> <p>(4) マイナンバーカードを申し込まない理由</p> <p><b>17. 区政への関心と要望</b></p> <p>★(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度【P19】</p> <p>★(2) 区の情報を知るために利用する媒体【P20】</p> <p>★(3) 区の情報公開【P20】</p> <p>★(4) 区役所を最近利用したときの満足度【P21】</p> <p>★(5) 施策要望【P22】</p>
---	---

# 1. 定住性

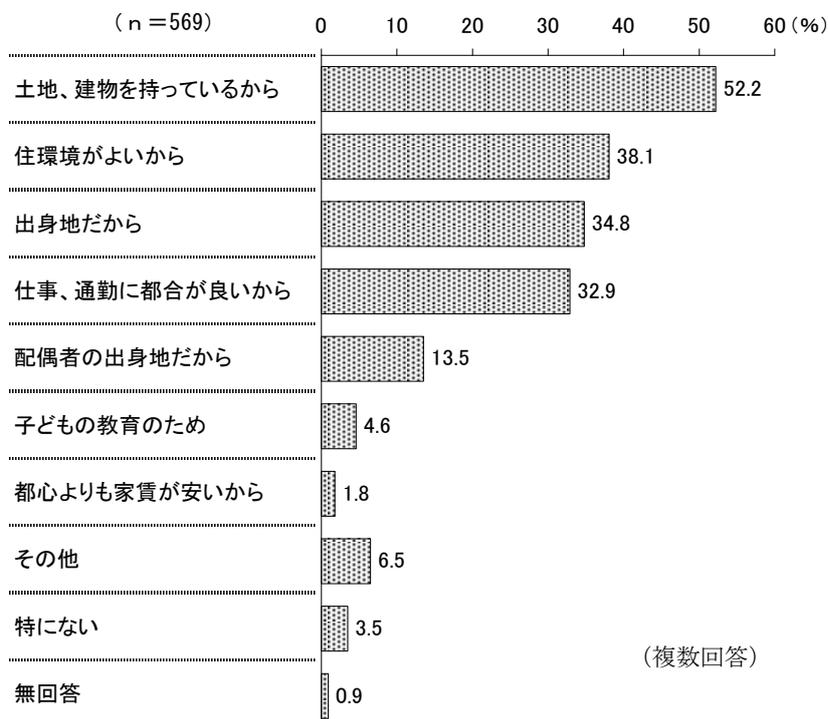
## ■ 定住意向・・・『定住意向（計）』は8割を超える

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（56.3%）が5割半ばで最も高く、これに「当分は住みたい」（27.4%）を合わせた『定住意向（計）』（83.7%）は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（3.6%）と「大田区外へ移りたい」（0.7%）を合わせた『転出意向（計）』（4.3%）はわずかとなっている。



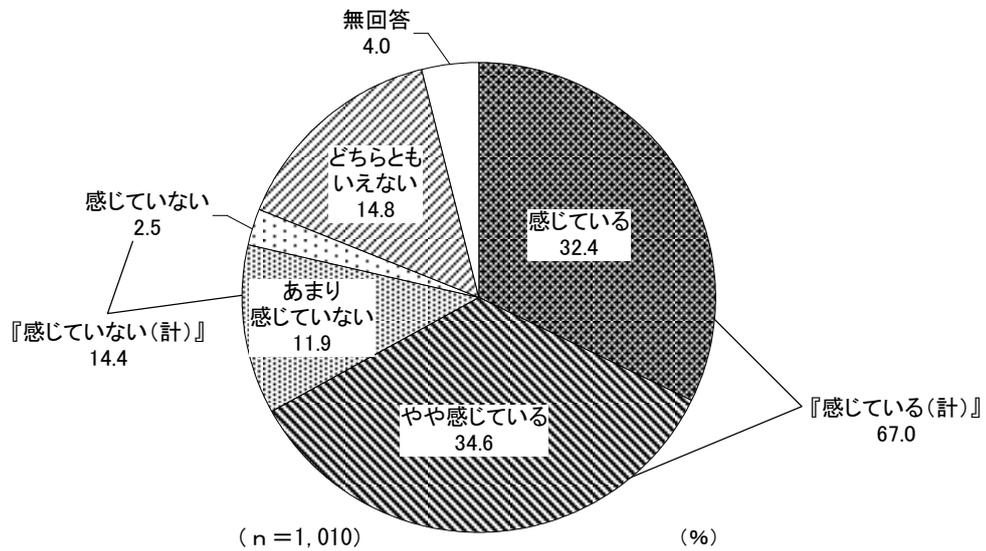
## ■ ずっと住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が5割を超える

これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人（569人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（52.2%）が5割を超えて最も高く、次いで「住環境がよいから」（38.1%）、「出身地だから」（34.8%）、「仕事、通勤に都合が良いから」（32.9%）などの順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている(計)』は7割近く

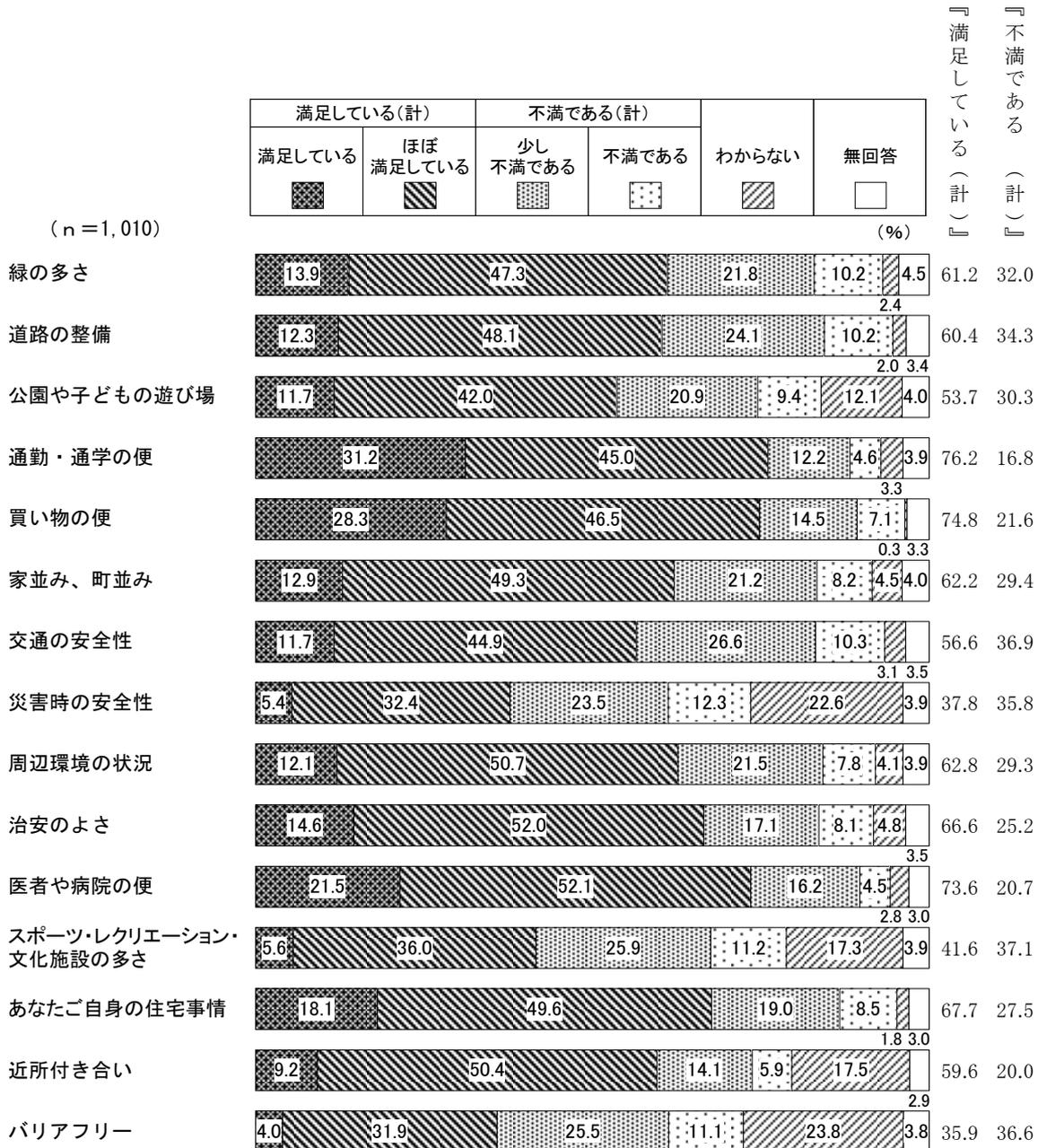
住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」(34.6%)が3割半ばで最も高く、これに「感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(67.0%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(11.9%)と「感じていない」(2.5%)を合わせた『感じていない(計)』(14.4%)は1割半ばとなっている。



## 2. 暮らしやすさ

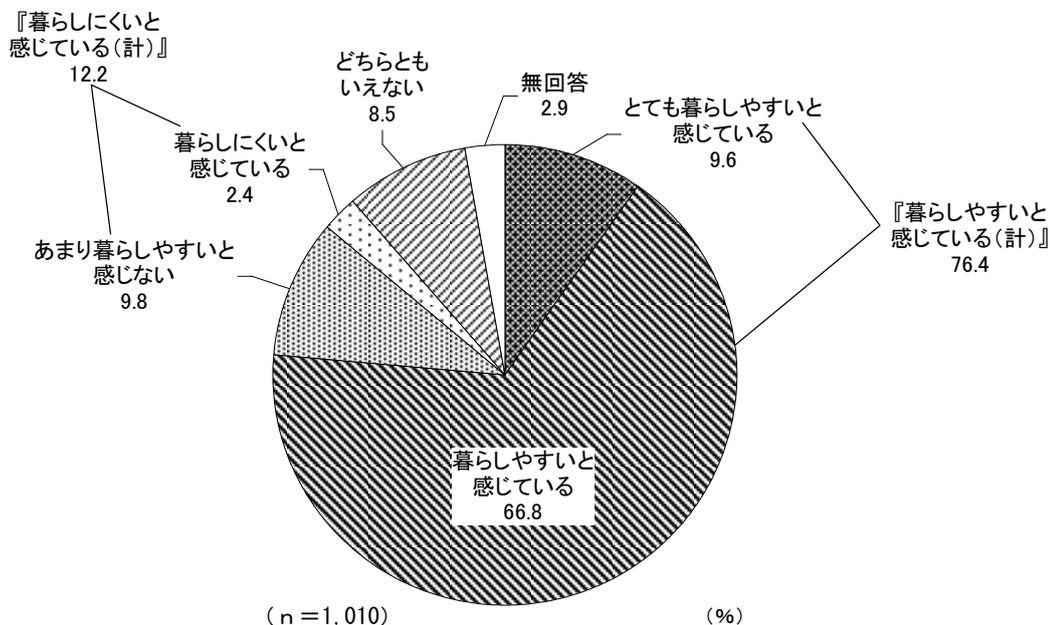
■生活環境の満足度・・・『満足している（計）』は“通勤・通学の便”、“買い物の便”、“医者や病院の便”で7割台

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は「通勤・通学の便」（76.2%）、「買い物の便」（74.8%）、「医者や病院の便」（73.6%）の3項目で7割台と高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は「スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ」（37.1%）、「交通の安全性」（36.9%）、「バリアフリー」（36.6%）で4割近くとなっている。



■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている(計)』は7割半ば

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(66.8%)が7割近くで最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(9.6%)を合わせた『暮らしやすいと感じている(計)』(76.4%)は7割半ばとなっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」(9.8%)と「暮らしにくいと感じている」(2.4%)を合わせた『暮らしにくいと感じている(計)』(12.2%)は1割を超えている。



《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

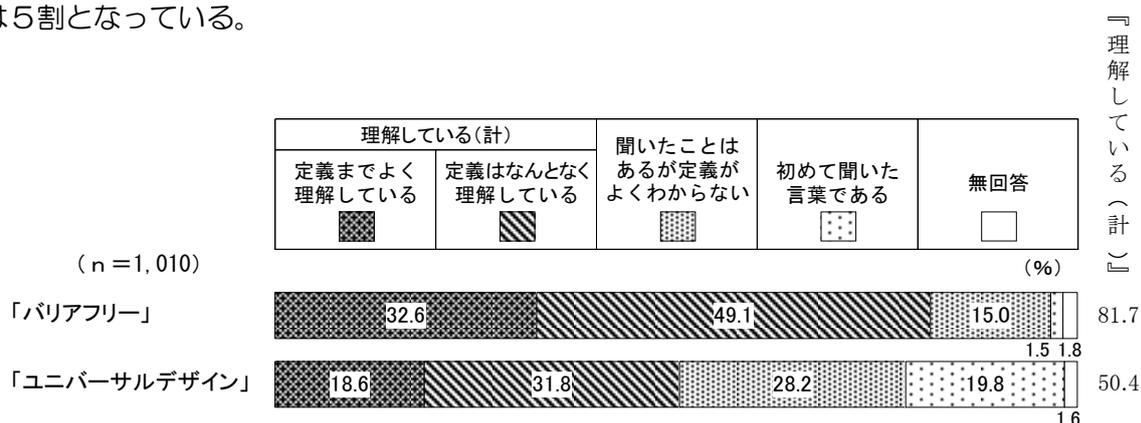
3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

■「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

・・・『理解している(計)』は「バリアフリー」が8割を超え、「ユニバーサルデザイン」が5割

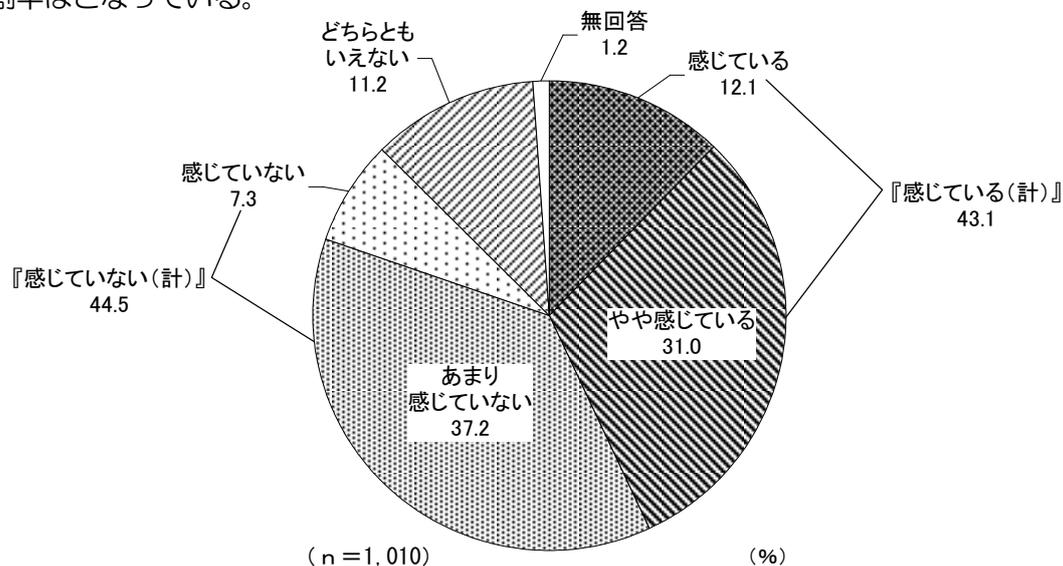
「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(49.1%)が約5割で最も高く、これに「定義までよく理解している」(32.6%)を合わせた『理解している(計)』(81.7%)は8割を超えている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義までよく理解している」(18.6%)と「定義はなんとなく理解している」(31.8%)を合わせた『理解している(計)』(50.4%)は5割となっている。



## ■ 駅周辺のバリアフリー化・・・『感じている(計)』は4割を超える

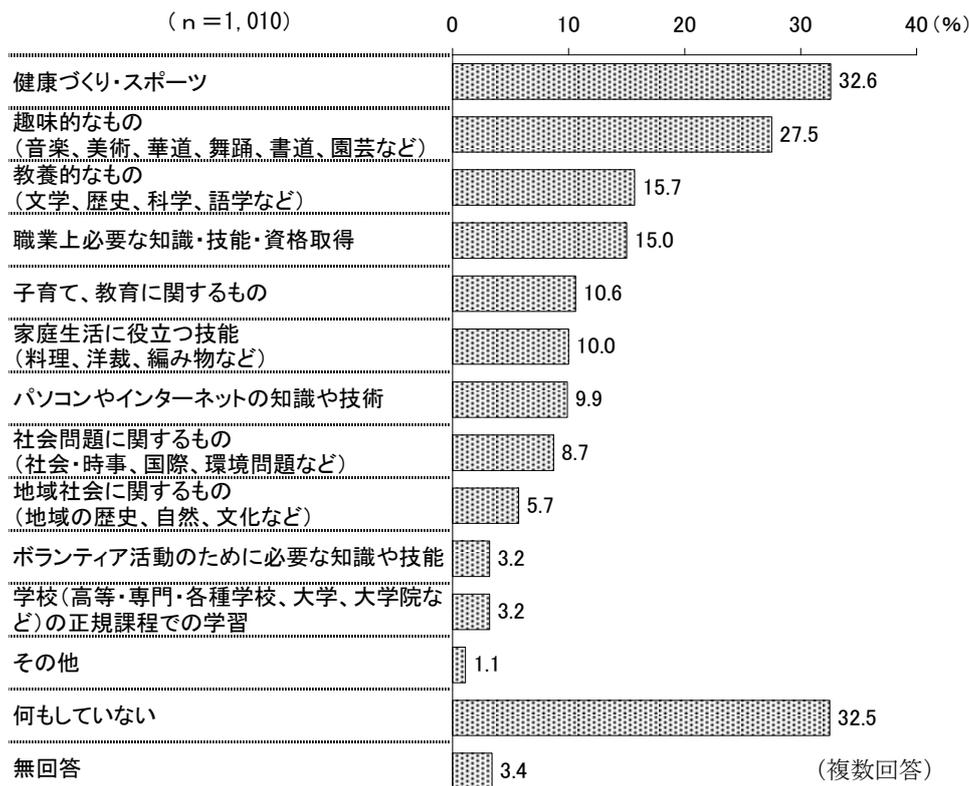
駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じているか聞いたところ、「感じている」(12.1%)と「やや感じている」(31.0%)を合わせた『感じている(計)』(43.1%)は4割を超えている。一方、「あまり感じていない」(37.2%)と「感じていない」(7.3%)を合わせた『感じていない(計)』(44.5%)は4割半ばとなっている。



## 4. 生きがいと誇りをもって暮らせるまち

### ■ この1年間に行った生涯学習・・・『健康づくり・スポーツ』が3割を超える

この1年間に行った生涯学習を聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」(32.6%)が3割を超えて最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(27.5%)、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」(15.7%)、「職業上必要な知識・技能・資格取得」(15.0%)、「子育て、教育に関するもの」(10.6%)などの順になっている。一方、「何もしていない」(32.5%)は3割を超えている。

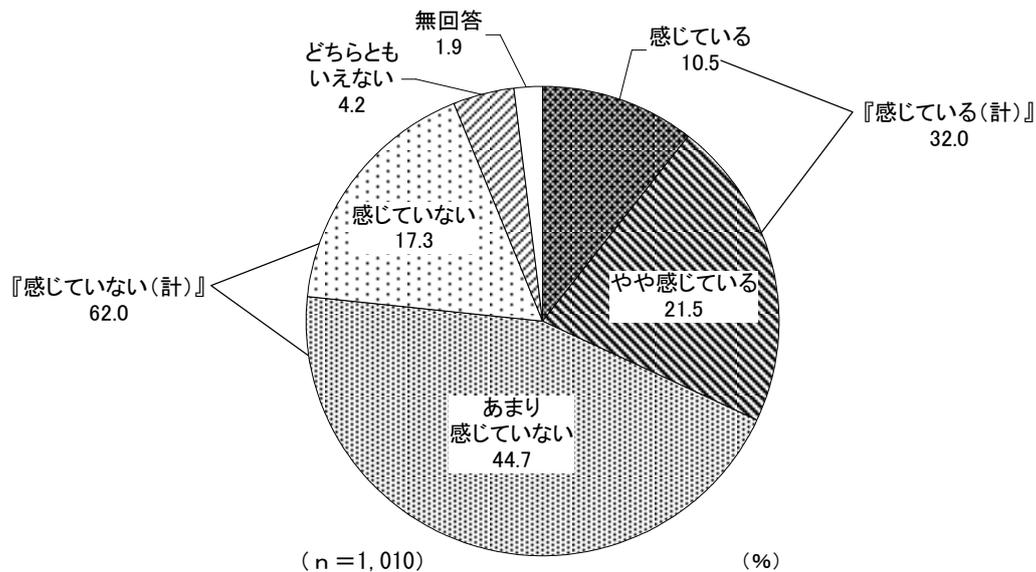


## 5. スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち

### ■東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じているか

・・・『感じている(計)』は3割を超える

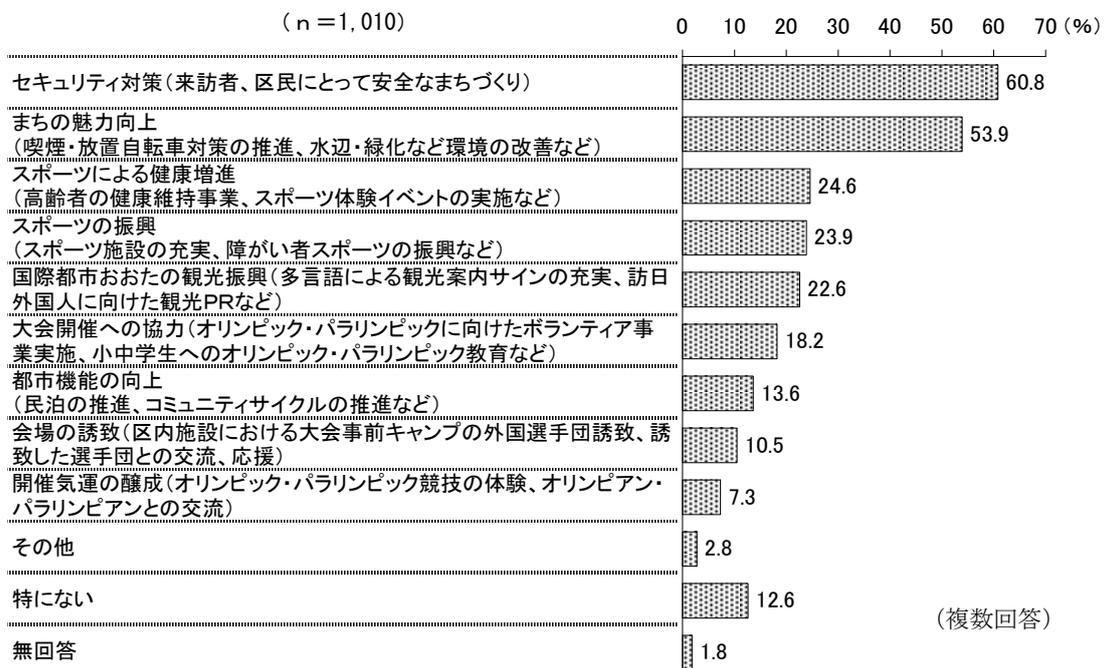
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が身近になってきたと感じているか聞いたところ、「感じている」(10.5%)と「やや感じている」(21.5%)を合わせた『感じている(計)』(32.0%)は3割を超えている。一方、「あまり感じていない」(44.7%)と「感じていない」(17.3%)を合わせた『感じていない(計)』(62.0%)は6割を超えている。



### ■東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区に期待する取組

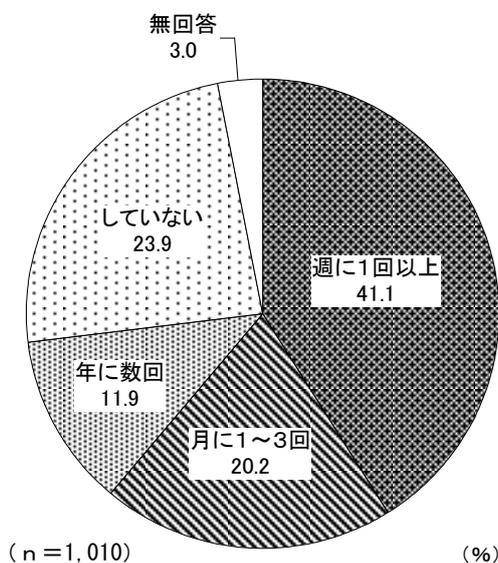
・・・『セキュリティ対策(来訪者、区民にとって安全なまちづくり)』が約6割

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、大田区に期待する取組を聞いたところ、「セキュリティ対策(来訪者、区民にとって安全なまちづくり)」(60.8%)が約6割で最も高く、次いで「まちの魅力向上(喫煙・放置自転車対策の推進、水辺・緑化など環境の改善など)」(53.9%)、「スポーツによる健康増進(高齢者の健康維持事業、スポーツ体験イベントの実施など)」(24.6%)などの順になっている。



■この1年間の運動・スポーツ活動の頻度・・・「週に1回以上」が4割を超える

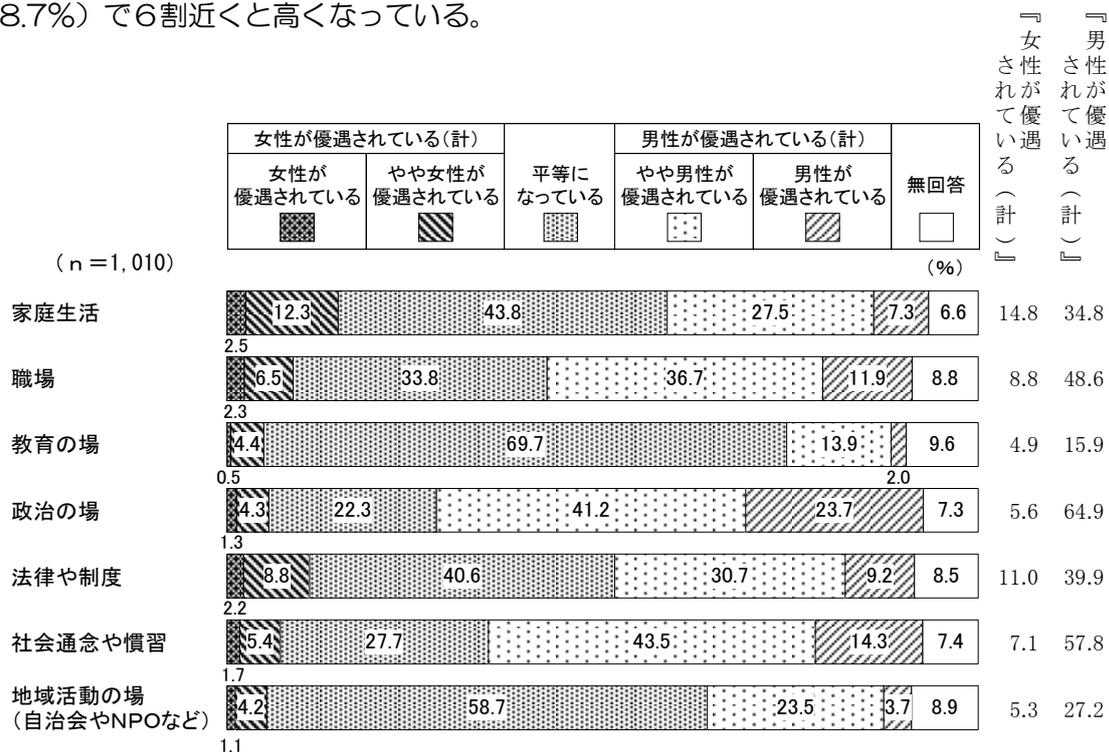
この1年間の運動・スポーツ活動の頻度を聞いたところ、「週に1回以上」(41.1%)が4割を超えて最も高く、「月に1～3回」(20.2%)は2割、「年に数回」(11.9%)は1割を超えている。一方、「していない」(23.9%)は2割を超えている。



## 6. 安定した暮らしと人権

- 男女の地位平等・・・『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”で1割半ば
- 『平等になっている』は“教育の場”で7割
- 『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”で6割半ば

男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”(14.8%)で1割半ばとなっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”(64.9%)で6割半ば、“社会通念や慣習”(57.8%)で6割近くと高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”(69.7%)で7割、“地域活動の場(自治会やNPOなど)”(58.7%)で6割近くと高くなっている。

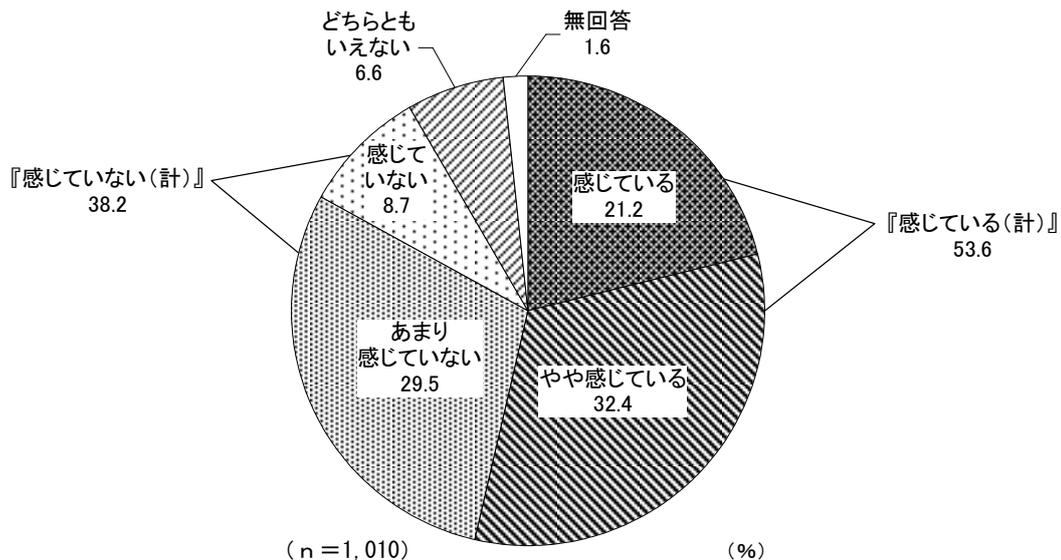


## 《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く<sup>まち</sup>都市》

### 7. 潤いとやすらぎのあるまち

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている(計)』は5割を超える

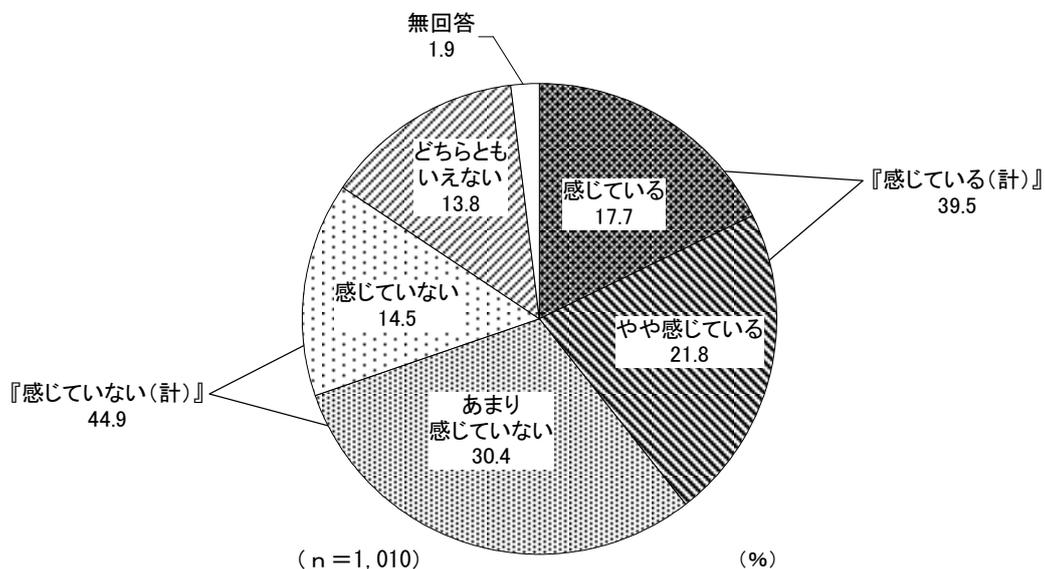
身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(21.2%)と「やや感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(53.6%)は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」(29.5%)と「感じていない」(8.7%)を合わせた『感じていない(計)』(38.2%)は4割近くとなっている。



### 8. 世界へ羽ばたくまち

■羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度・・・『感じている(計)』は4割

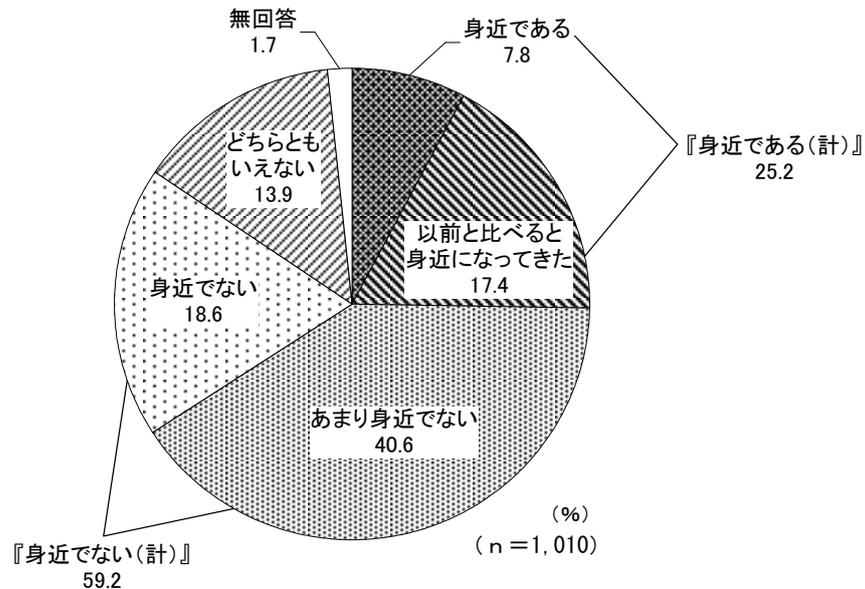
羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じているか聞いたところ、「感じている」(17.7%)と「やや感じている」(21.8%)を合わせた『感じている(計)』(39.5%)は4割となっている。一方、「あまり感じていない」(30.4%)と「感じていない」(14.5%)を合わせた『感じていない(計)』(44.9%)は4割半ばとなっている。



## 9. 未来につながる空港臨海部

### ■ 空港臨海部が身近なまちとなってきているか・・・『身近である(計)』は2割半ば

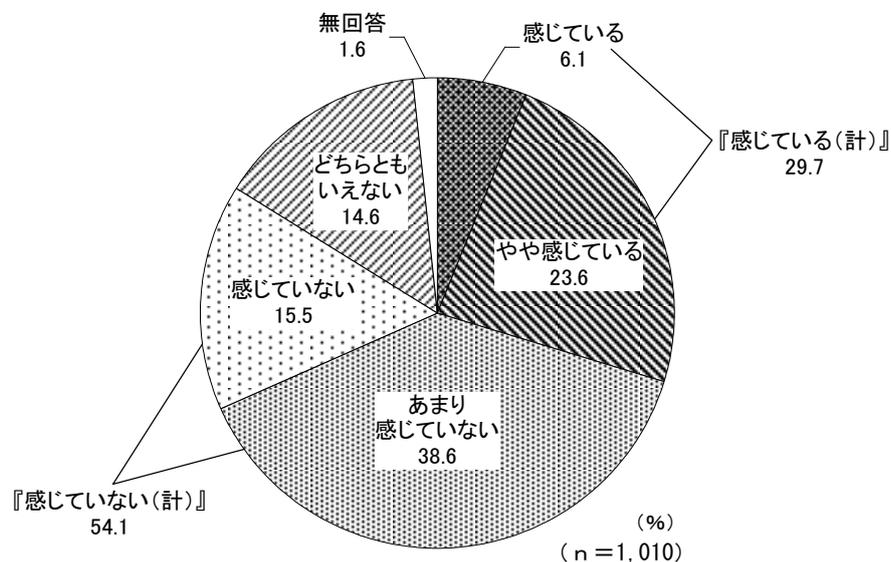
埋立地の空港臨海部が身近なまちとなってきたか聞いたところ、「身近である」(7.8%)と「以前と比べると身近になってきた」(17.4%)を合わせた『身近である(計)』(25.2%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり身近でない」(40.6%)と「身近でない」(18.6%)を合わせた『身近でない(計)』(59.2%)は約6割となっている。



## 10. 国際交流

### ■ 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか・・・『感じている(計)』は3割

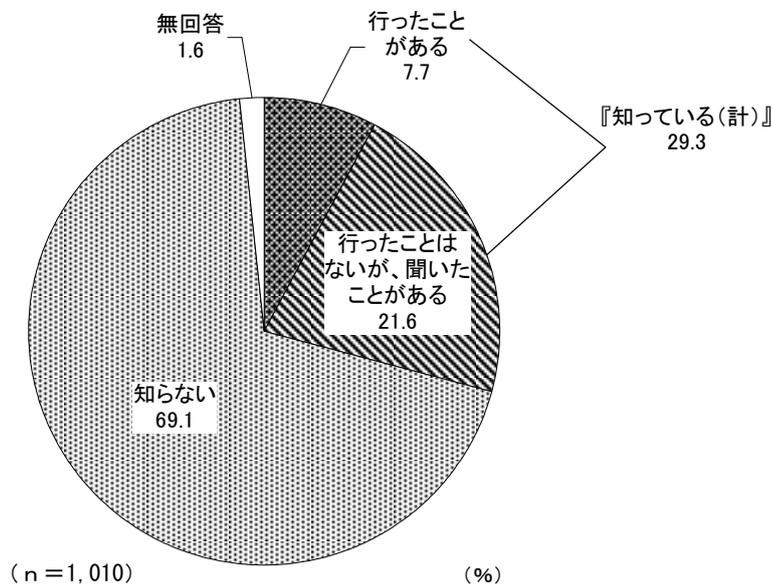
大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(6.1%)と「やや感じている」(23.6%)を合わせた『感じている(計)』(29.7%)は3割となっている。一方、「あまり感じていない」(38.6%)と「感じていない」(15.5%)を合わせた『感じていない(計)』(54.1%)は5割半ばとなっている。



## 11. 大田区の観光

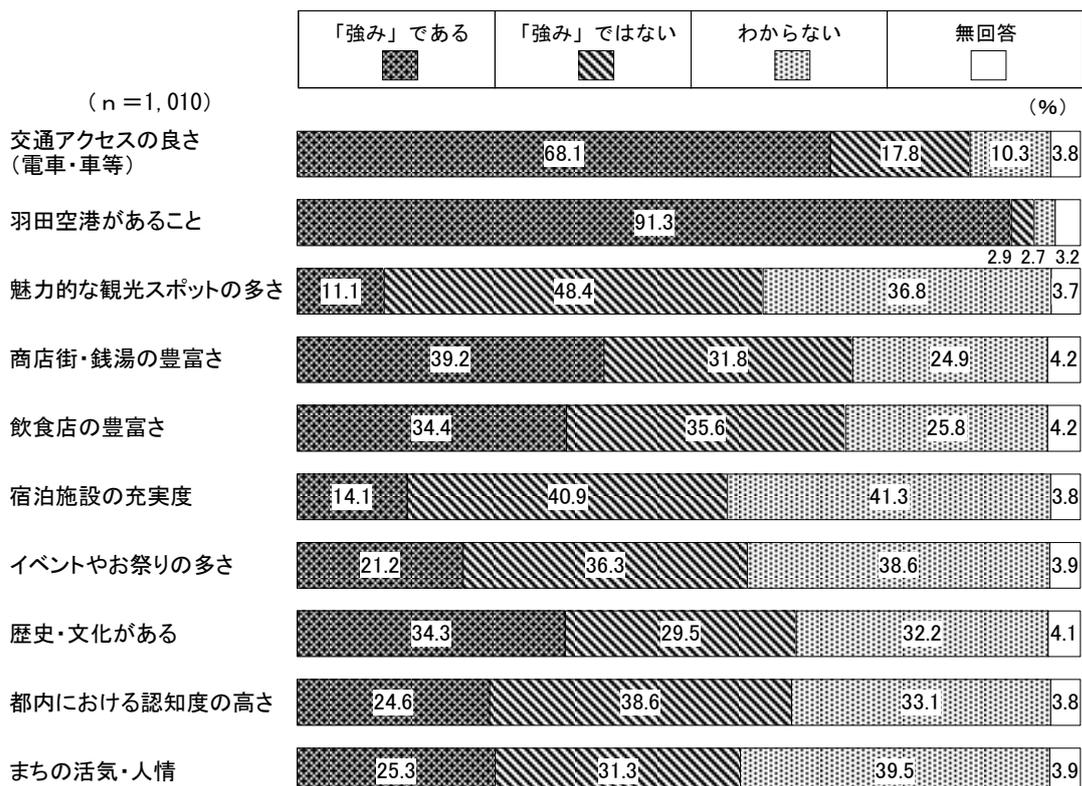
### ■「大田区観光情報センター」の認知度・・・『知っている(計)』は約3割

「大田区観光情報センター」を知っているか聞いたところ、「行ったことがある」(7.7%)と「行ったことはないが、聞いたことがある」(21.6%)を合わせた『知っている(計)』(29.3%)は約3割となっている。一方、「知らない」(69.1%)は約7割となっている。



### ■観光の視点からみた大田区の強み・・・『強み』は“羽田空港があること”で9割を超える

観光の視点から東京の他区と比較して大田区の強みについて聞いたところ、「『強み』である」は“羽田空港があること”(91.3%)で9割を超え、“交通アクセスの良さ(電車・車等)”(68.1%)で7割近くと高くなっている。一方、「『強み』ではない」は“魅力的な観光スポットの多さ”(48.4%)で5割近く、“宿泊施設の充実度”(40.9%)で約4割と高くなっている。

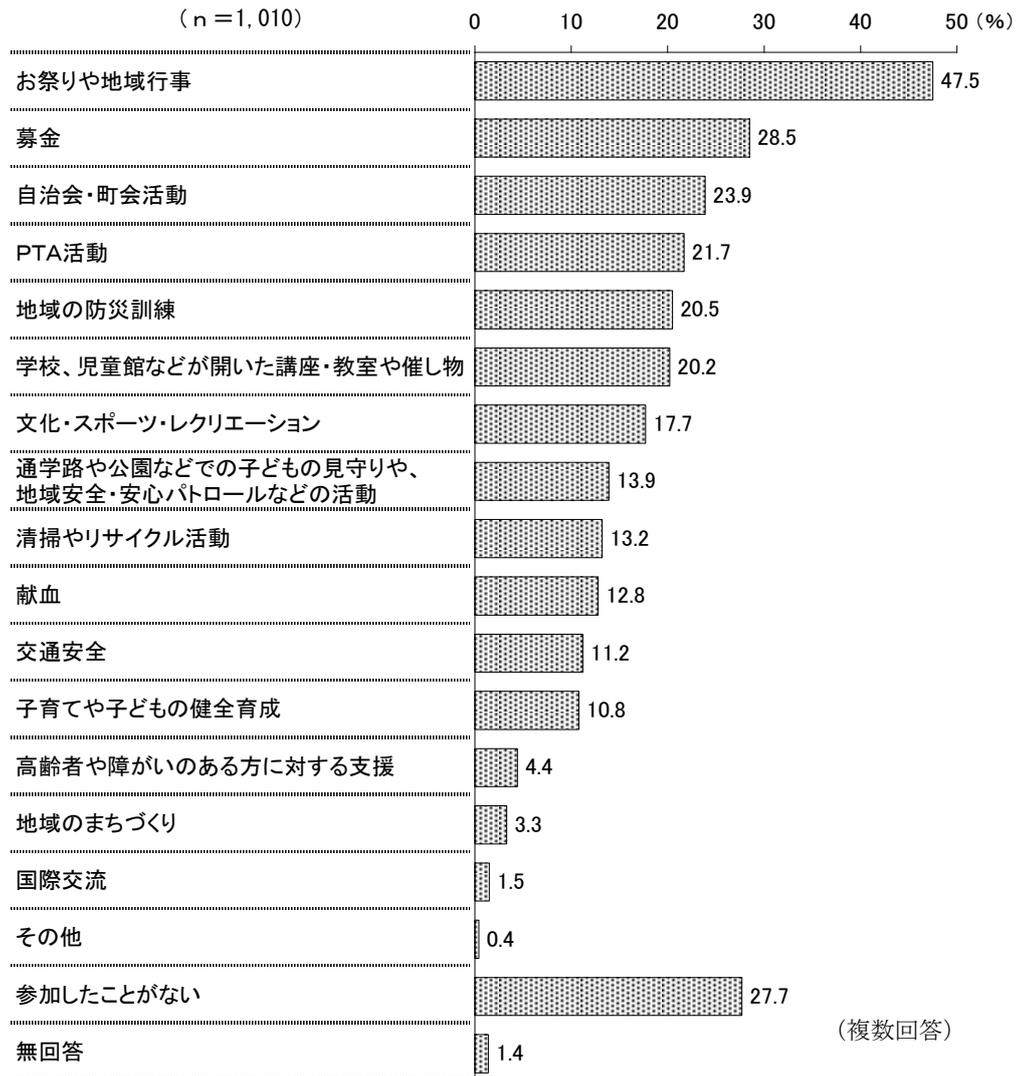


## 《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

### 12. 地域力の土台づくり

#### ■参加したことがある地域活動・・・「お祭りや地域行事」が5割近く

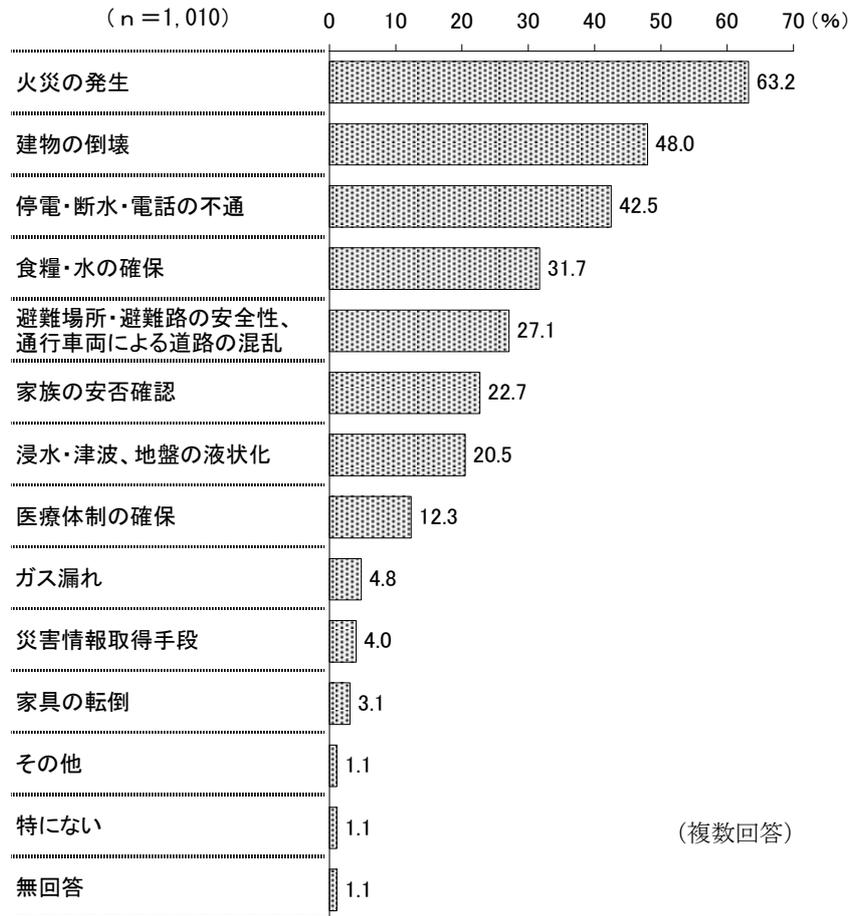
区内の地域活動に参加したことがあるか聞いたところ、「お祭りや地域行事」(47.5%)が5割近くで最も高く、次いで「募金」(28.5%)、「自治会・町会活動」(23.9%)、「PTA活動」(21.7%)、「地域の防災訓練」(20.5%)などの順になっている。一方、「参加したことがない」(27.7%)は3割近くとなっている。



### 13. 災害に強いまちづくり

#### ■大震災発生時に不安だと思うもの・・・「火災の発生」が6割を超える

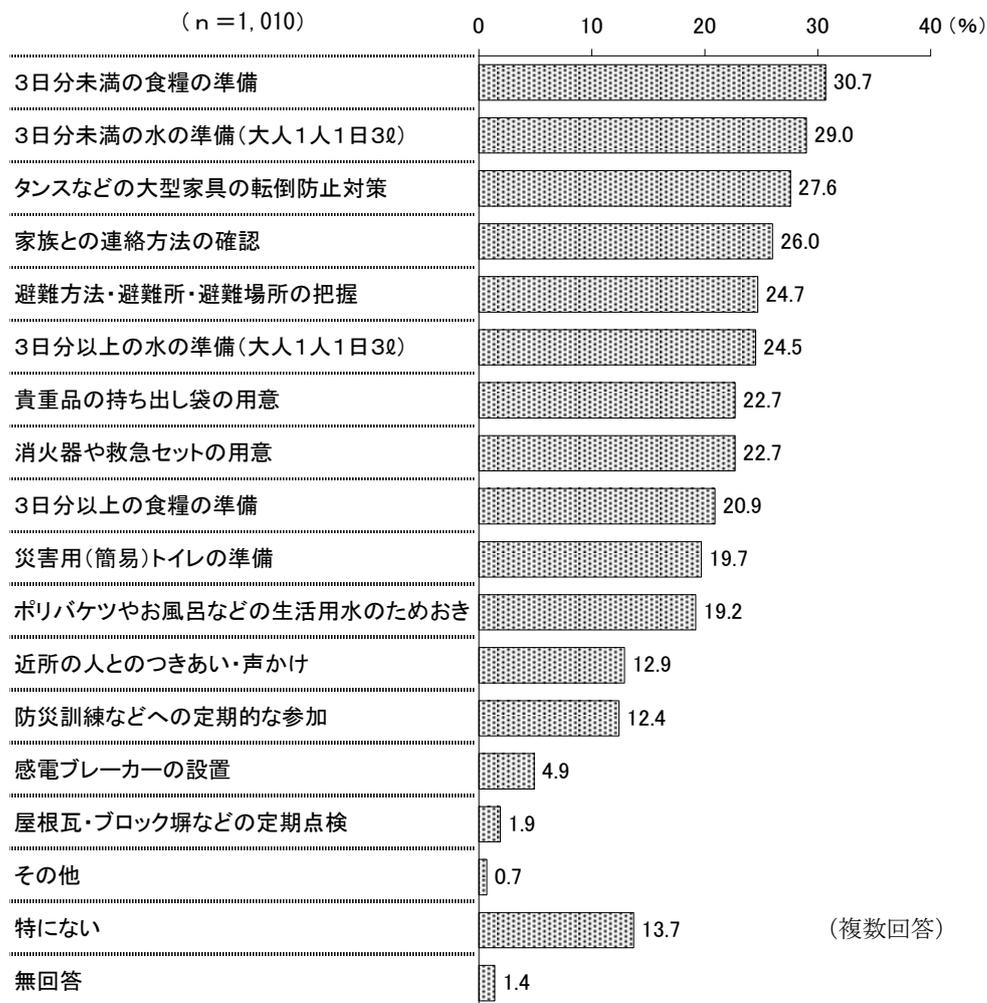
東京に大震災が発生した場合、特に不安だと思うものを聞いたところ、「火災の発生」(63.2%)が6割を超えて最も高く、次いで「建物の倒壊」(48.0%)、「停電・断水・電話の不通」(42.5%)、「食糧・水の確保」(31.7%)などの順になっている。



■ 震災対策の実施状況

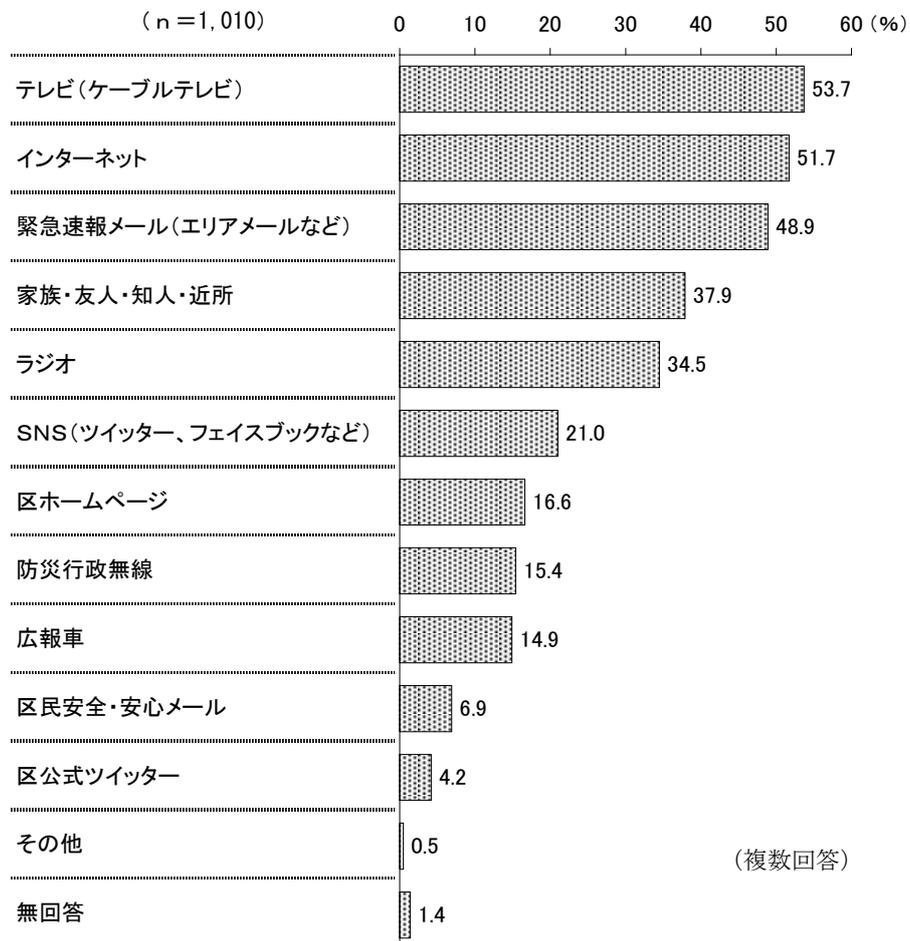
・・・「3日分未満の食糧の準備」と「3日分未満の水の準備（大人1人1日3ℓ）」が約3割

大地震に備えて普段から行っていることを聞いたところ、「3日分未満の食糧の準備」（30.7%）と「3日分未満の水の準備（大人1人1日3ℓ）」（29.0%）が約3割で高く、次いで「タンスなどの大型家具の転倒防止対策」（27.6%）、「家族との連絡方法の確認」（26.0%）、「避難方法・避難所・避難場所の把握」（24.7%）などの順になっている。



■災害情報の入手手段・・・「テレビ（ケーブルテレビ）」と「インターネット」が5割を超える

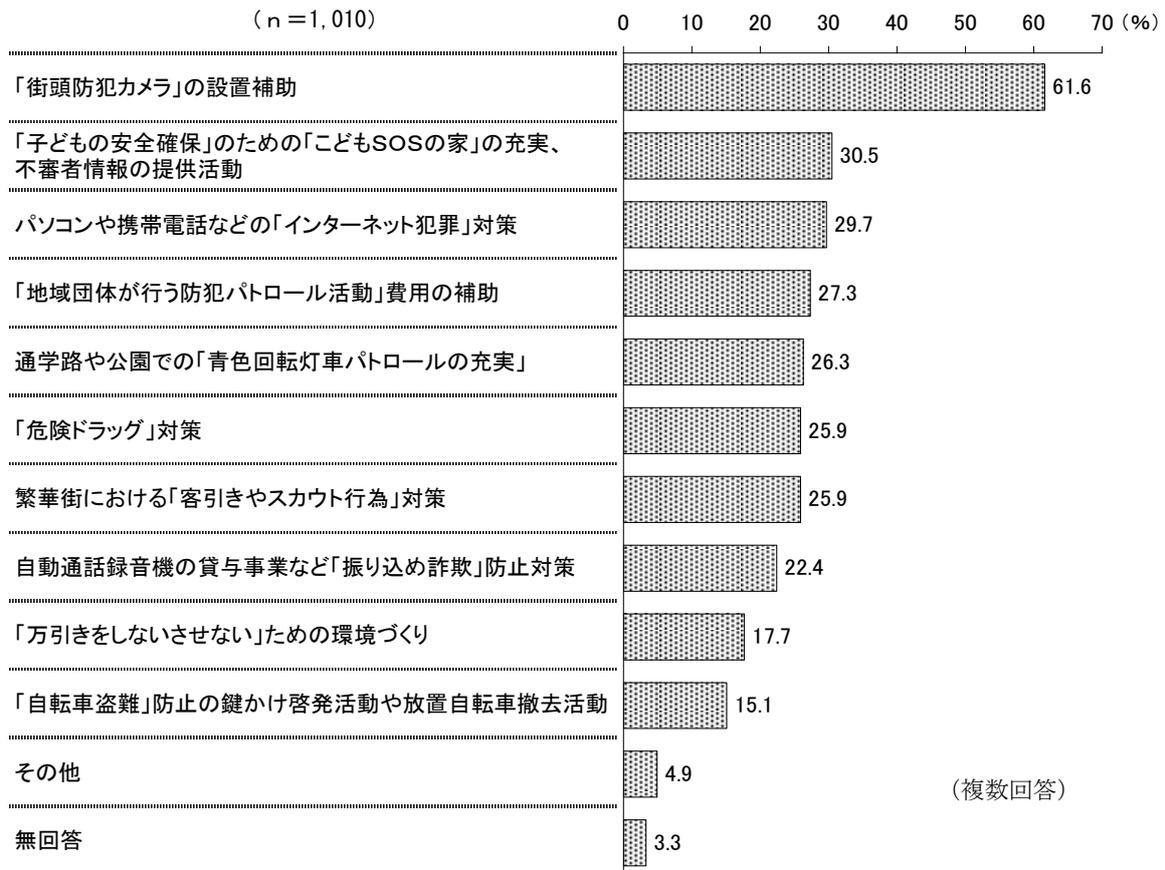
災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（53.7%）と「インターネット」（51.7%）が5割を超えて高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（48.9%）、「家族・友人・知人・近所」（37.9%）などの順になっている。



## 14. 防犯に強いまちづくり

### ■力を入れてほしい防犯施策・・・『街頭防犯カメラ』の設置補助』が6割を超える

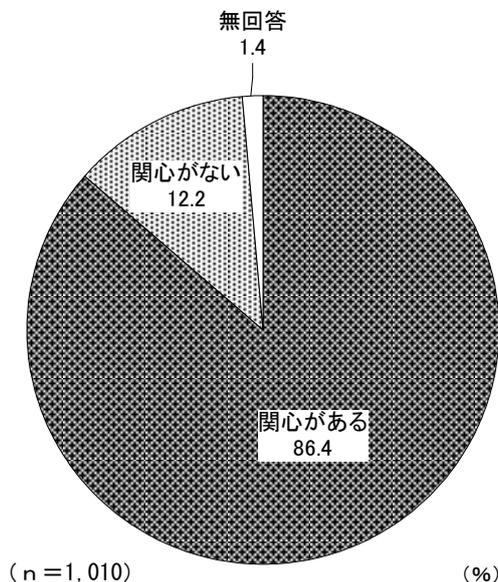
犯罪被害に遭わないようにするための防犯施策として、区が今後、力を入れてほしいことを聞いたところ、「『街頭防犯カメラ』の設置補助」（61.6%）が6割を超えて最も高く、次いで「『子どもの安全確保』のための『こどもSOSの家』の充実、不審者情報の提供活動」（30.5%）、「パソコンや携帯電話などの『インターネット犯罪』対策」（29.7%）、「『地域団体が行う防犯パトロール活動』費用の補助」（27.3%）などの順になっている。



## 15. 地球環境

### ■地球温暖化防止への関心度・・・「関心がある」が8割半ば

地球温暖化防止に関心があるか聞いたところ、「関心がある」（86.4％）が8割半ば、「関心がない」（12.2％）は1割を超えている。

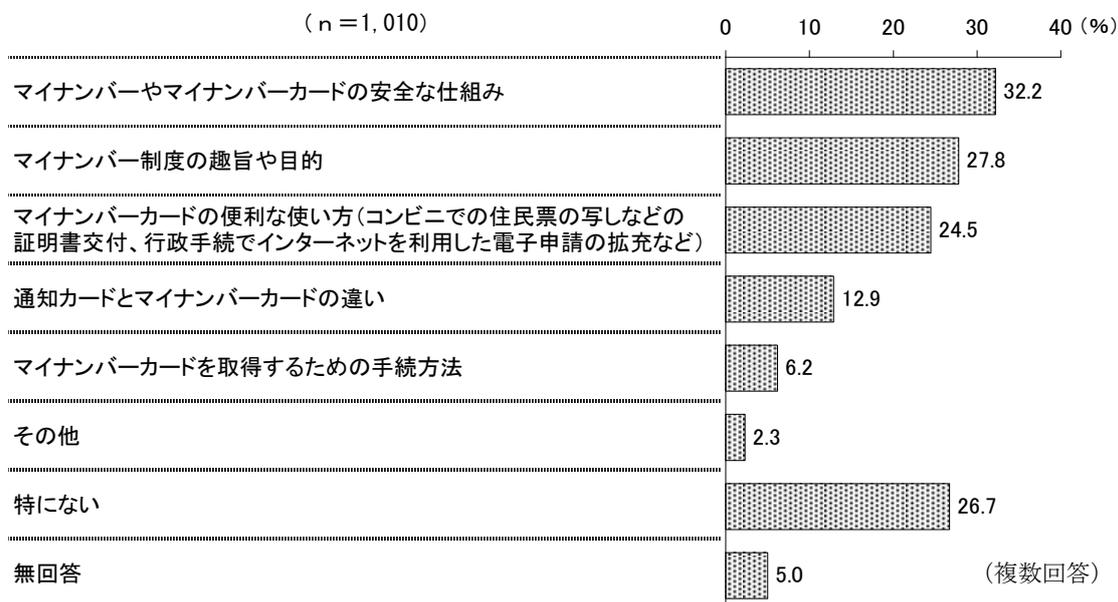


## 16. マイナンバー制度

### ■マイナンバー制度について知りたいこと

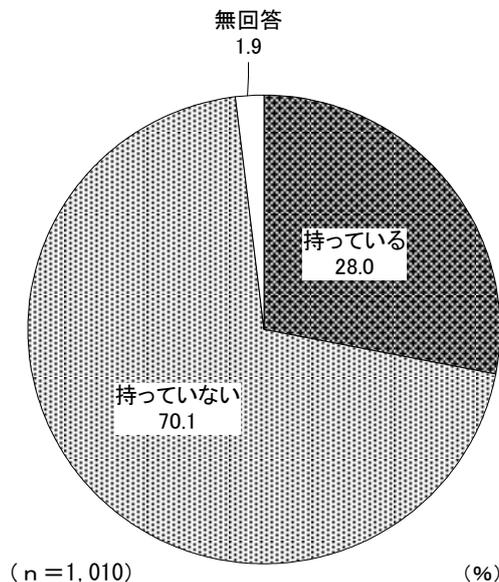
#### ・・・「マイナンバーやマイナンバーカードの安全な仕組み」が3割を超える

マイナンバー制度について知りたいことを聞いたところ、「マイナンバーやマイナンバーカードの安全な仕組み」（32.2％）が3割を超えて最も高く、次いで「マイナンバー制度の趣旨や目的」（27.8％）、「マイナンバーカードの便利な使い方（コンビニでの住民票の写しなどの証明書交付、行政手続でインターネットを利用した電子申請の拡充など）」（24.5％）などの順になっている。



## ■マイナンバーカードの所有状況・・・「持っている」が3割近く

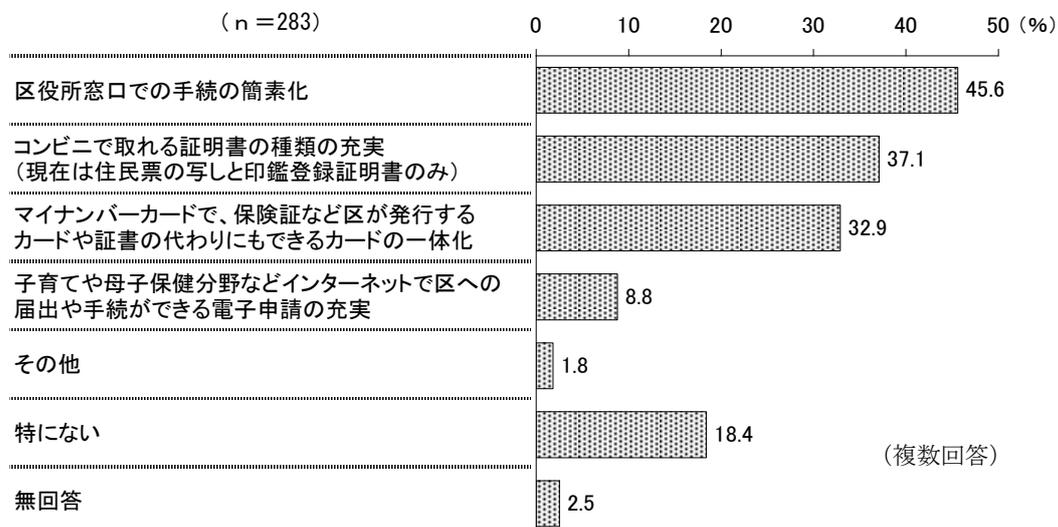
マイナンバーカードを持っているか聞いたところ、「持っている」(28.0%)は3割近く、「持っていない」(70.1%)が7割となっている。



## ■マイナンバーカードの活用により期待する行政サービス

・・・「区役所窓口での手続きの簡素化」が4割半ば

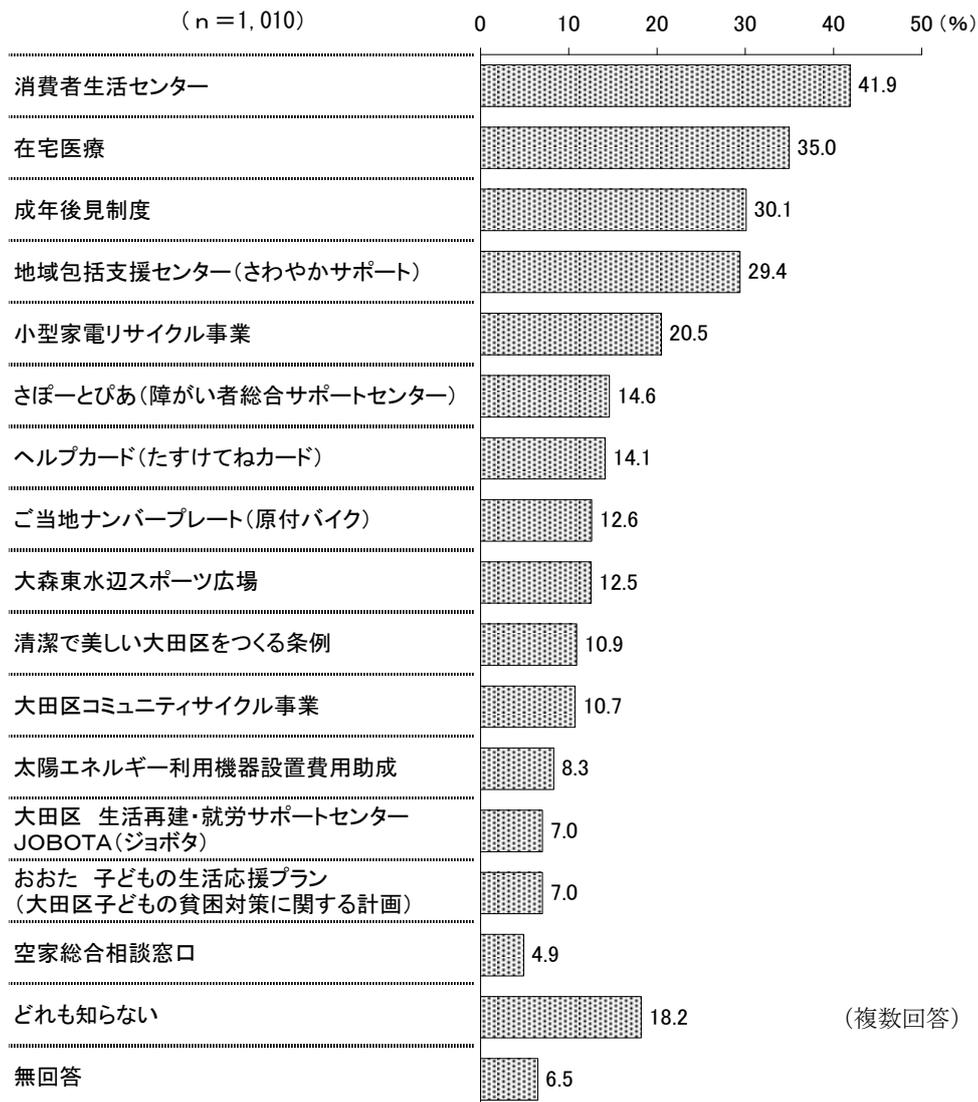
マイナンバーカードを「持っている」と答えた人(283人)に、どのような行政サービスの向上を期待するか聞いたところ、「区役所窓口での手続きの簡素化」(45.6%)が4割半ばで最も高く、次いで「コンビニで取れる証明書の種類の充実(現在は住民票の写しと印鑑登録証明書のみ)」(37.1%)、「マイナンバーカードで、保険証など区が発行するカードや証書の代わりにもできるカードの一体化」(32.9%)、「子育てや母子保健分野などインターネットで区への届出や手続きができる電子申請の充実」(8.8%)などの順になっている。



## 17. 区政への関心と要望

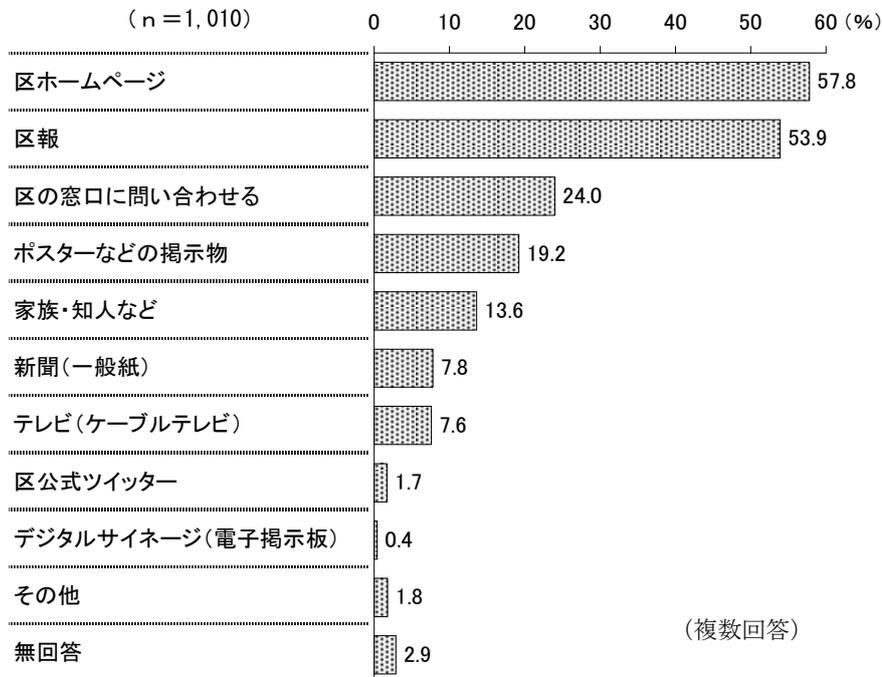
### ■大田区等の制度・施策・施設の認知度・・・「消費者生活センター」が4割を超える

区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「消費者生活センター」(41.9%)が4割を超えて最も高く、次いで「在宅医療」(35.0%)、「成年後見制度」(30.1%)、「地域包括支援センター(さわやかサポート)」(29.4%)、「小型家電リサイクル事業」(20.5%)などの順になっている。



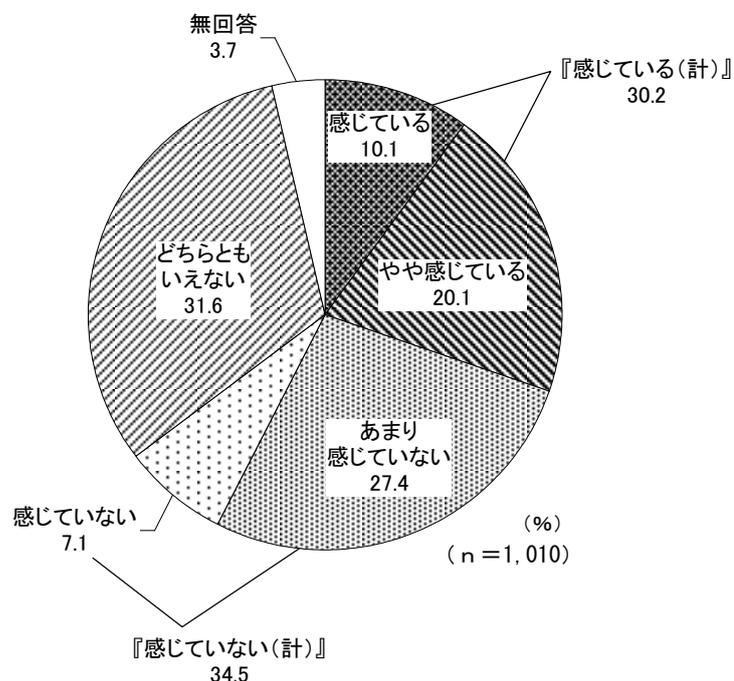
■ 区の情報を知るために利用する媒体・・・「区ホームページ」が6割近く

区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区ホームページ」(57.8%)が6割近くで最も高く、次いで「区報」(53.9%)、「区の窓口にお問い合わせ」(24.0%)、「ポスターなどの掲示物」(19.2%)、「家族・知人など」(13.6%)などの順になっている。



■ 区の情報公開・・・『感じている(計)』は3割

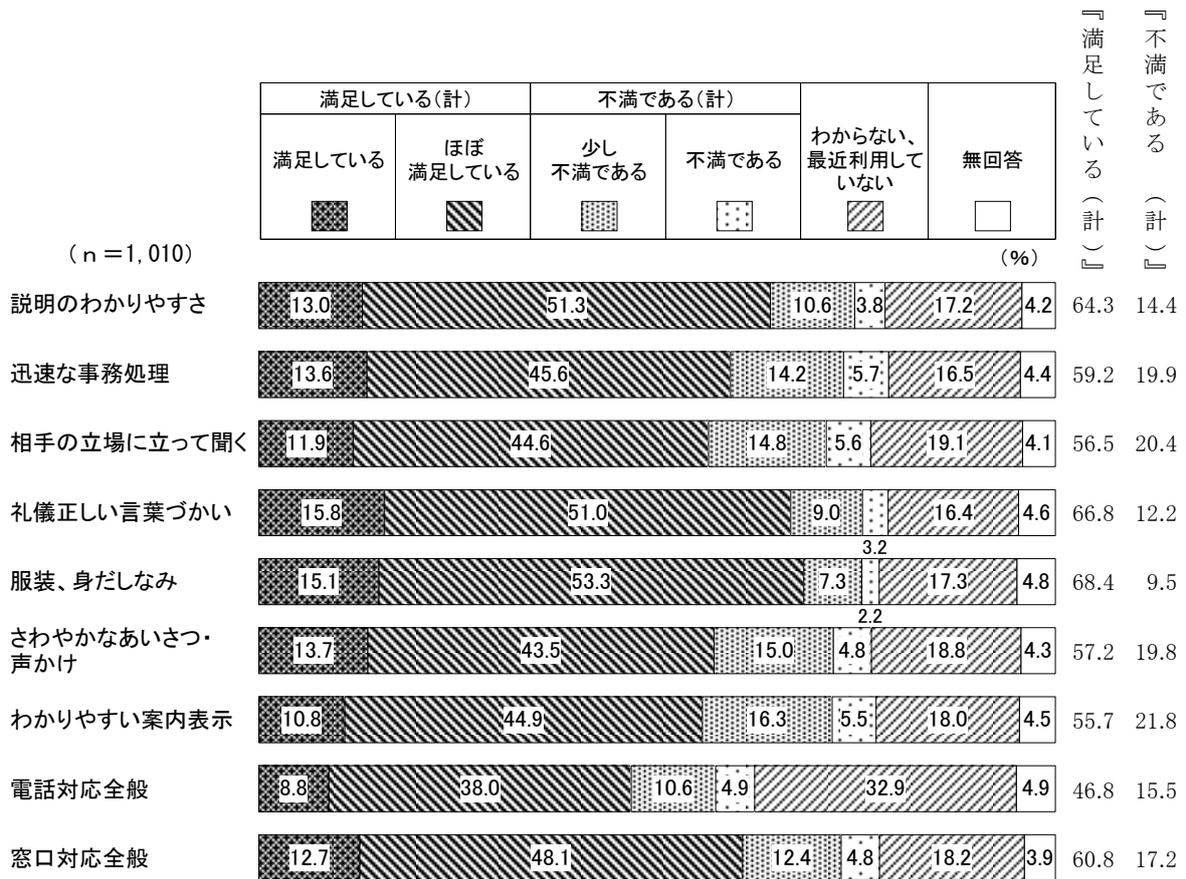
区政情報が適切に公開されていると感じているか聞いたところ、「感じている」(10.1%)と「やや感じている」(20.1%)を合わせた『感じている(計)』(30.2%)は3割となっている。一方、「あまり感じていない」(27.4%)と「感じていない」(7.1%)を合わせた『感じていない(計)』(34.5%)は3割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(31.6%)は3割を超えている。



■ 区役所を最近利用したときの満足度

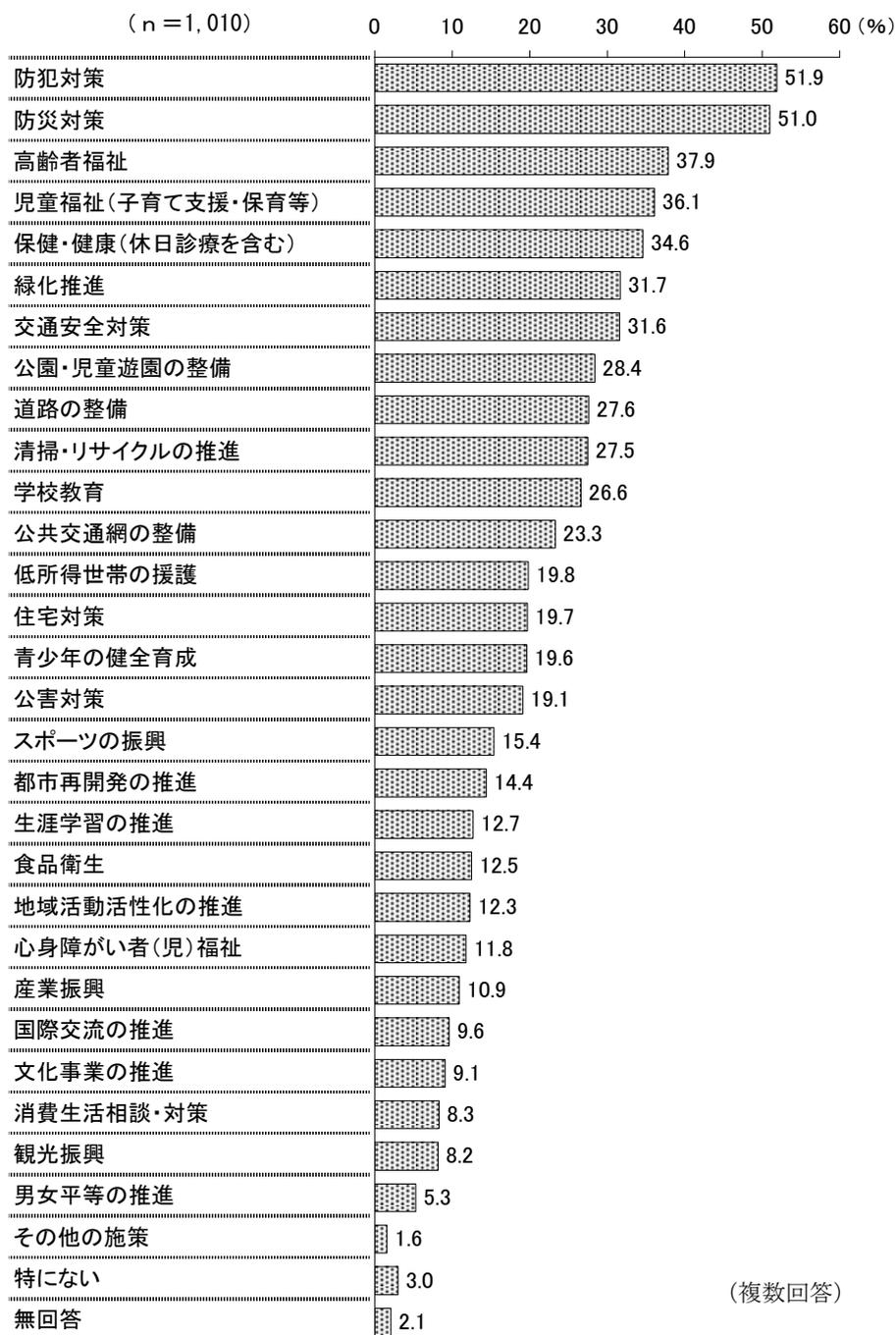
・・・『満足している(計)』は“服装、身だしなみ”と“礼儀正しい言葉づかい”で7割近く

区役所を最近利用したときの満足度について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「服装、身だしなみ」(68.4%)と「礼儀正しい言葉づかい」(66.8%)で7割近くと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「わかりやすい案内表示」(21.8%)と「相手の立場に立って聞く」(20.4%)で2割台となっている。



## ■ 施策要望・・・「防犯対策」と「防災対策」が5割を超える

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防犯対策」(51.9%)と「防災対策」(51.0%)が5割を超えて高く、次いで「高齢者福祉」(37.9%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(36.1%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(34.6%)、「緑化推進」(31.7%)などの順になっている。



# 大田区政に関する世論調査（概要版）

平成29年12月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課  
東京都大田区蒲田五丁目13番14号  
電話：03-5744-1135  
FAX：03-5744-1504

